

会報

かけはし

(題字 支部長 神山則幸)

令和5年8月1日

第 63 号

発行者
神山 則 幸

コロナ禍を経て

埼玉県退職校長会北足立南部支部 支部長 神山 則幸



埼玉県退職校長会北足立南部支部の総会が、新型コロナウイルス感染症が収束に向かいつつあることから、五月十八日に多くの来賓の方々をお迎えして対面形式で開くことができました。会員同士の交流が図られる中、総会を無事終了することができました。

令和五年度の会員数は、川口班二三名、蕨戸田班七九名、草加班九四名、朝霞班一二四名、合計五三〇名でスタートしました。二〇一九年十二月に中国で初めて新型コロナウイルスの感染者が確認され、WHOが警告を発する中、感染症は、急速に全世界に広がりました。その後、ワクチンの開発が、そしてワクチン接種が進み、二〇二三年五月八日に法上の位置づけが二類から五類相当に移行され、三年半にわたる自粛生活から解放されつつあります。

長期にわたる自粛生活は、社会生活に多くの変化をもたらせました。外出の自粛やテレワーク等の普及により家にいる時間が増え、運動不足や人との直接的な交流機会も減少し、ストレスや不安により精神的に悪影響をうけた人も少なく無かったとも聞いています。令和五年度を迎え、新型コロナウイルス感染症防止に向けた新しい生活様式が定着しつつあります。デジタル社会への対応が避けられない時代を迎えています。

学ぶ喜び、再び



現職の時にやり残した教育課題を解決するために、教授の真摯な指導の下、「教員の指導達成感と指導法の関連を中心に、小学校国

学校教育においても個々にタブレット端末を持つことにより授業の在り方も変容し、ICTの活用能力の育成も重要なものとなってきています。

また、働き方改革を受けて中学校の部活動のあり方が大きく変容していくと聞いています。

さらに、教員志望者の減少に拍車がかかっており、今後の教員不足が懸念されています。

多くの課題を抱えて学校運営にあたる現職の校長先生には、その手腕を発揮していただきたいと期待しております。

難関を突破して教員になって、先輩教員から「学校は人が人を育てる場所、授業も部活も身体を張って」と言われた事を懐かしく思うのは時代遅れなのでしょうか。

新しい時代になかなかなじめないなか、退職校長として学校教育にどう関わって行けるのか、勉強不足を痛感しています。

草加班 佐藤 泰子

楽しさ等の公的調査の報告等を精選して論点の背景とした。

次に、実践研究の方法として、順位相関係数等の統計法に基づき「国語科指導法に関する教員の認識」及び「教師効力感」と「研修の振り返り」に関する意識調査のデータ分析を行った。

その資料を基にして研究対象の教員の実態を推論した結果、多くの教員が強い自負と熱意を持って指導力の向上を図っているという自己有用感の高い認識を示した。転換期にある「献身的・聖職としての教師像」は、まだ現場に根強く浸透していることが顕在化した。現在、教員採用志望者の減少等厳しい勤務状況の中、意欲的に教育に取り組む教員の姿を演出できて本当に良かったと思っている。長年国語教育を担当していた私にとって、個人研修の総括となった。

多忙な学校経営の中、市内五校の校長先生方の誠実な協力を得て複数回に及ぶ実態調査を実施することができた。また、教育について語り合う「読書会」の方々にも大いに背中を押していただいた。退職後、人の縁に恵まれ教育という仕事を通して、再び学ぶ喜びを味わうことができた。そして、教育の重要性を再認識している。

新会員短信

スタンダード

川口班 渡辺 訓次

昨年度末、四年間の校長職を終え、無事に定年を迎えました。校長を拝命した年度末にコロナ感染症が猛威を振るい、残念ながら以前のスタンダードと呼べる小学校の一年間を送ることは叶いませんでした。しかし、中学校の経験しかない私にとって、義務教育の原点である小学校での日々は、常に新鮮でした。この四年間、コロナ対応はもちろん、教員の働き方改革の推進も加速し、学校教育の形が大きく変化しました。これもまた、貴重な経験でした。今、学校は新たなスタンダードの確立を求められています。異なる立場で見守り、支援したいと思っています。

楽しい人生第二ステージ

川口班 茂呂 修平

妙高山を一望できる長野の信濃にて、一人では持ち上げることができない樫の玉木をとび口を使い手繰り寄せ、エンジンの音とともに

に薪割機の斧がメキメキと音をたてながら太い玉木が割れていく。現在、キャンプ場と今冬の薪作りに体を動かし健康の日々。

週末はゴルフ三昧であるが広大な森の中にあり、自然の恵みの宝庫。シーズンを通して我が胃袋を楽しませてくれる。また、天然記念物の二ホンジカが偶に姿を見せとても幸せな気持ちになれる。今、教育課題が山積しているが子供達にとっても「学校は楽しい」この言葉に尽きるのでは・・・

学びの場へ感謝

朝霞班 貴志 祐子

和光第四小を退職後、初任校長でお世話になった富士見市教委で、教育相談員をしています。相談室では、コロナ禍で不登校の児童・生徒が急増しています。不登校以外にも難しい相談が増えている現状です。

相談員の仕事を通して、次の三つの大切さを痛感しています。
一 愛されて育つこと。
二 基本的な生活習慣の定着
三 人間関係を築くこと。です。相談室には、特別支援教育の知識や教育経験が豊富なスタッフが多く、研修会も開いています。

相談員として学ぶ機会を与えて頂いていることを感謝しています。

「変わらない私」

朝霞班 伊澤 千衣子

定年退職後、地域貢献で充実した日々を送ってきた。

地域の方々との交流は、新しい世界を見せてくれると共に、大きな社会勉強となった。中でも、腐心してきたことは、ひとり一人の底力を活かしながらの組織の円滑な運営であった。小さな綻びで会が瓦解してしまうこともある反面、事業が成功し、仲間たちと居酒屋で語り合ったことはおおきな喜びであった。

今は、私のような役割を若い人に伝える努力をしている。つまり、教育活動である。変わらない私がある。

教育を見つめて

朝霞班 佐久間 幸代

社会情勢が大きく変化し、以前のような日常に戻りつつある中で、退職を迎えました。振り返ると学校の在り方、教育の行く末を探り、校長先生方と連携し、教職員と心をつなぎながら過ごした日々は大変貴重で、感謝の気持ち

働き方改革を職員室から

志木市教育委員会教育長 柚木 博



私は、令和3・4年度の2年間、埼玉県都市教育長協議会の教育行財政・教育施設部会において、学校施設の調査研究に携わらせていただきました。その研究のうち、「職員室」についてのお話をいたします。

調査研究に当たって、県内各市にアンケートを行いました。学校の勤務環境について、大切だと考えているが、現状では欠けている機能は」という問いの回答として多かったのは、「リフレキシブル機能」、「教員相互のコミュニケーション機能」、「そして「個々の教職員の研究・研鑽を促進する機能」でした。

この結果を見て、働き方改革を進めていく中で、改めて職員室の果たす役割を痛感しました。

先進的に取り組まれている学校の具体例について、ここでは「管理職席の中央配置」と「フレキシ

でいっぱいです。

その中で、改めて教育の現実と周知とのギャップに気づき、あえて教職から距離を置くことを選びました。微力ではございますが、これまでの御恩を外郭からお返しできるよう、新たな挑戦を続けていこうと考えています。

これまでご指導ご助言いただき、ありがとうございました。

改めて感謝

朝霞班 森 聖

中学校数学科の教員としてスタートし、職場の仲間を支えられながらの三十七年間でした。

退職間際には、学校運営協議会の皆様をはじめ、地域の方々、職場の皆様、先輩方、同輩や後輩など、本当に多くの方々に、何もできなかつた私にはもつたないほどの温かい言葉等をいただきました。改めて感謝いたします。

今年度は、初任者研修拠点校指導教員として後進の育成の一端を担っています。若い先生方に教職のすばらしさ、子供の無限の可能性を実感してもらえよう一生懸命取り組んでいます。今後ともよろしくお願いいたします。

退職を機に思うこと

川口班 大場 真

昨年度末に定年退職し、現在は川口市立教育研究所で、教育相談員として勤務しています。川口市内在住の不登校児童生徒の支援をしており、それぞれの児童生徒がより良く成長できるように尽力していきたいと思っております。

また、現職時代とは随分、生活スタイルが変わり、時間にゆとりがあると感じます。このことは、先輩退職校長からも言われていましたが、実際に退職を迎え、実感しています。これまでの慌ただしい生活から解放され、これからの手ぶら人生を充実させるために、新たな気持ちで生活していこうと気持ちを切り替えたところです。

これから

川口班 加田 明

昨年度末に定年退職し、現在は川口市立舟戸小学校で再任用校長として勤務しています。

学校は子供たちにとつて何よりも安心安全で楽しく生活を送ることのできる居場所でなくてはならないと思います。そのためには、人と人との繋がりを大切にし、困

ったことがあれば助け合える、わからないことがあつたら聞き合える関係づくりが必要と考えます。

「すべての子供の学びを保証する学校」、児童はもちろん保護者も地域も教職員も「みんなが幸せになれる笑顔あふれる学校」の現に向けてこれからも努めてまいります。

「宝物」は宝物

朝霞班 隅田 由香利

私は現在、「学校図書館事業推進アドバイザー」として市立図書館と学校図書館をつなぐ仕事をさせていただいています。学校図書館を訪問すると、お気に入りの本と出会い、目をキラキラ心をわくわくさせながら、本の世界に浸っている子供達の姿を目にします。

このように学校現場からは離れたましたが、本を通して子供達の未来につながる仕事を続けられることはとてもうれしいです。

四十年の教職人生の中でいたいた諸先輩方からの教えは宝物です。第二の人生でもたくさん出会いを大切にしながら元気に過ごしていきたいと思えます。

ブルデスク+個人ロッカーの導入」を紹介します。

前者は、管理職と教職員のコミュニケーションの活性化を図る目的で、後者は、管理職以外の個人事務机を撤廃することで、教職員同士のコミュニケーションを活性化し、個人の仕事、共同で行う仕事等の切り替えが柔軟に行えるように取り組まれているということです。

また、本市のある小学校では、職員室内の一角に、テーブル、椅子とお茶セットがセットイングされた「お茶スペース」が設けられており、教職員のリフレッシュの場となっています。

施設設備の大幅な改修でなくても、現在の施設を活かしながら整備できることもあると思います。

働き方改革は、突き詰めれば「意識改革」だと確信していますが、先ず職員室という「カタチ」を変え、それが行動変容につながり、やがて意識改革に結実していくというサイクルもあるのではないのでしょうか。

そして、意識改革が次の「カタチ」を変え、行動変容を起こすという働き方改革の好循環となることを期待しています。

新たな気持ちで

朝霞班 来嶋 実樹子

昨年度末に三十八年間の教員生活が無事に終わることができました。最後の三年間はコロナとのたたかいでしたが、苦しい時に多くの皆様に支えていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。

四月からは児童館勤務という職に恵まれ、乳幼児親子・小学生・中学生・高校生と日々充実した時間を過ごしています。ピアノを弾いたり、折り紙を折ったり、卓球(負けてばかり!)をしたり、本当に楽しいです。学校とは違う形で子育て支援に関われる幸せを感じています。この仕事にできるだけ長く関わられるよう、健康第一で過ごしていきたいと思えます。

つながりと感謝を忘れず

草加班 山根 明

教職を目指し初めて教壇に立った学校の校長として定年を迎えられたことは、とてもありがたい縁を感じます。また、教職と言うやりのある素晴らしい仕事を全うできたのは、地域や諸先輩方と同僚の支援のおかげであるとおつくづく感じます。この場をお借りし

改めて感謝を申し上げる次第です。

さて、現在は初任者指導とスクールソーシャルワーカーの二足のわらじを履き、次世代を担う教員と併走しながら、自身が受けた支援やつながりを、地域や子どもたちに還元しています。退職後も、教育に関わり続けることができる喜びを感じ、セカンドキャリアは、これまでの恩返し of 気持ちを持ちつつ、教育の発展の一助となれるよう日々精進して参ります。

「夢を育む」

朝霞班 阿部 剛

昨年度末に定年退職し、現在は志木市立宗岡第二小学校で再任用校長として勤務しております。

これまでお世話になりました皆様方に厚く御礼申し上げます。本校は、子供たちも教職員も、

明るく元気な学校です。「あいさつ」「清掃」「歌声」「返事」を大切にしながら知・徳・体のバランスの取れた児童の育成を目指しているところです。

未来に生きる子供たちの夢を育み、児童、教職員がいつも明るく元気な学校となれるよう精進してまいりますので、引き続きご指導よろしくお願ひします。

生涯学習

朝霞班 曾根田由貴子

この度ご縁がありまして、退職して八年が過ぎましたが、入会することを決めました。

今、私は退職後から生涯学習の仕事に就いております。子ども達をとりまく環境が大きく変化していく中で、学校だけが役割を担うのではなく、学校・家庭・地域が一体となつて子どもを育てることが求められています。微力ですが放課後の居場所づくり事業、昨年に新たに設置した地域学校協働本部の活動に携わり、私自身の生涯学習も含めて、子ども達の教育活動を支援し、学校支援にご協力をいただいた方々を緩やかに繋げていきたいと活動を進めています。

感謝、そして新たな使命

蕨・戸田班 田中 京子

三月末、私の年齢から定年退職を知った子どもたちが、全校集会を開いて私を送り出してくれました。本当に幸せな卒業となりました。たくさんの子どもたち、保護者、そして先生方と出会い、三十八年に渡って充実した日々を重ねることができました。喜びと感謝

の気持ちでいっぱいです。

四月からは、教員を志望する大學生の指導・支援にあたっています。困難の多い学校現場を目指す学生を大切に、子ども一人一人を愛し育てることのできる教員として巣立たせることが、学校現場を支えることにつながると考え、教師の卵をはぐくんでいきます。

新たなスタートを切りました

川口班 須山 恵美子

多くの方に導いていただき、支えていただきながら、おかげさまで三月末に定年退職の日を迎えることができました。ありがとうございます。

四月一日より川口市立舟戸幼稚園長として、新たなスタートを切り、歩み始めました。小学校というステージとは違うこともあり、戸惑うこともありましたが、子どもたちの健やかな成長のために尽力することに変わりはありません。三十数年間で学んできたことを糧にしつつもチャレンジする気持ち大切にしていきます。笑顔で子どもたちともかかわるために、健康に留意していきます。

日々に新たななり

川口班 瀧沢 靖雄

丁度、十年ほど前の初夏の頃と記憶しております。毎朝行う瞑想中に次のような声を聴きました。「お前の使命は、次代を担う教員の養成にある！」格好良く言えば神の聲ともいえましよう。以来、校長として後進に託す意識を持つて職務に当たってまいりました。

現在、ご縁あつて三つの大学で教職課程を専攻する学生と共に学ぶ毎日を過ごしております。報道等の影響が多分にあるのでしょうか。一般大学の学生は、教師になることを決めかねている者が七く八割です。この、迷える学生に、教職の魅力伝えることを生業と認識し、目標十五年！頑張ります。

視点を変えて

川口班 星野 泰久

昨年度末に無事、定年を迎えることができました。お世話になった皆さまに厚く御礼申し上げます。

現在は、安行中学校、安行東中学校で初任者指導員として勤務しています。どちらも教諭として勤務していた学校。校舎や樹々、そして地域の方々に懐かしさを感じ

ています。また、三月までとは違う視点から見る職員室は、新鮮で、教諭の立場を思い出させてくれます。

長時間勤務を始め、多くの課題が伝えられる中、教職に魅力を感じ、教員になった先生方。「毎日笑顔で出勤できる」、「先生になってよかったと実感できる」ことを目標に、一緒に学んでまいります。

新たな環境で

朝霞班 坂口 智

昨年度末におかげさまで定年を迎えることができました。中学校国語科の教員としてスタートし、中学校21年間、小学校10年間、市教委7年間お世話になりました。

様々な方との出会いに感謝しかありません。現在は教え子が経営する保育園のお手伝いをしていきます。小規模ながらも6園あり、お弁当やおやつの配達、壊れたものの修繕や教材作りのお手伝い、保育士さんの代役もします。充実した日々を送っています。「年寄りに保育のお手伝いができるのか？」と不安もありましたが、おじいちゃんもいて、結構ニーズがあります。保育士さんのお子さんの進路相談にも応じました。少

しでもいろいろな場面で役に立てればと思っております。

初心に戻って

朝霞班 金澤 勇一

退職までの3年間は、コロナの波に襲われ、日々奮闘しました。特に月曜日に急増する傾向にあり、電話が鳴りやまない日もありました。また、音楽を専門としていた私には、授業や行事を制限せざるを得ないなど、辛く苦しい中でした。3月に無事に退職でき、

ほつとしていきます。4月からは再任用教諭として、十数年ぶりに授業をさせていただいています。教材研究や、なれない授業で筋肉痛になっていきます。初心に戻って、大好きな音楽ができる幸せを感じ、頑張っているところです。最後に、今まで支えてくださった先生方、ありがとうございます。

初任者指導にあたり

川口班 若林 茂

昨年度末に定年退職し、現在は初任者研修拠点校指導教員として勤務しています。小学校四校で六人の初任者を担当し、早いもので二か月が過ぎましたが、新しい仕

事にも少しずつ慣れてきました。

六人の初任者は、それぞれの課題と向かい合いながら、一步一步前進しています。そんな彼らの成長をサポートしていますが、私自身もこれまでの経験に加え、学び直しや新たな学びをしながら、先輩として、学び続ける教師でありたいと思います。そして、教えることの楽しさ、教師としてのやりがいや少しでも感じてもらえたらと考えています。

未来に向けて

川口班 中島 俊幸

現在、六人の初任者を指導しています。教科も六教科で、日々教材研究をしながら初任者研修に臨んでいます。そこでは、今まではあまり考えなかったそれぞれの教科の特性やねらい、魅力に触れ、新たな発見を体感しています。また、校長時代から研究していた「二十一型の学び」についても研究を続け、これからの教育を担う若手の教員たちにこれまでの「教師としての基本」と時代を見据えた「新しい資質」とは何かなどを初任の先生と一緒に考えながら研修にあたっています。

「未来に向けて」

最後の年

朝霞班 高橋 利明

昨年度末に定年退職し、現在は初任者の拠点校指導教員をさせていただいております。

三校、十年間という校長職でしたが、多くの先輩方、そして先生方からたくさんのお指導・御鞭撻をいただきながら、どうにか職務を全うすることができました。本当にありがとうございます。

最後の三年間は、新型コロナウイルス感染症と格闘する日々。そして最後の年での母の死去。その後は、私自身が心身に疲労困憊し、休日に寝込むほどでした。しかし今後は、自力で未来を切り開いていける人材の育成に微力ながらお力添えできたら幸いです。

再会、そして新たな歩み

川口班 岩田 直代

四月から市立教育研究所の教育相談員として勤務しています。指導主事時に初任者研修担当として出会った初任者が、今は指導主事となり、同じ職場で再会して学校支援に向けて協働していることに、月日の流れの早さと共に、次世代へバトンを繋げたことを感じます。

これまで立場が変わるごとに見えなかつたものが、見えるようになりました。今春からは相談員としての新たな気づきや感じ方を大切に、日々子供たちのために奮闘する教職員や、教えを頂いた諸先輩方への恩返しも含め、微力ながらも少しでもお役に立てるよう新たな歩みを進めてまいります。

未知へのチャレンジ

蕨・戸田班 板橋 哲

退職するまでの十年間、蕨・戸田両市で校長としてお世話になりました。

昨年、実家近くの深谷に移り、農産物の産地直送加工場で働いています。パートのママさん達の教育相談（愚痴？）に付き合いますが、未知の世界にチャレンジしています。給料を頂きながら、筋トレに励んでいる感覚です。日々、贅肉が筋肉に変わっていく楽しさを感じながら過ごしています。校長最後の仕事として取り組んだ、部活動地域移行を支援すべく、JSP Oのクラブマネージャー資格の取得にも目指しています。これからもよろしく願っています。

新たな一歩

朝霞班 杉山 巖

私は令和四年度末に定年退職し、四月より小学校の拠点校指導教員として新しい一歩を踏み出したところです。市教委時代を除いて、すべて中学校で過ごしてきた身にとって、初めての小学校の生活は全てが新鮮で興味深いところです。

また六人の初任者は皆、やる気に満ちあふれ、何でも吸収しようとする姿勢は私も見習わなければならぬと感じています。定年は迎えましたがもう少し子ども達と関わらせてもらい、お世話になったこの地域に貢献したいと思っています。

教師人生再出発

川口班 郡 豊

昨年度末、定年退職を迎えることができました。在職中は、多くの先輩方に、適切なご指導や温かい励ましのお言葉をいただきました。大変お世話になりました。ありがとうございます。

現在、再任用教員として川口市立芝西中学校陽春分校で理科の授業を担当しています。陽春分校は、学び直しを望む生徒や日本の

中学校卒業資格を取得しようとする他国籍の生徒が通う夜間中学校です。自ら入学を志願してきた生徒たちは、学びに対してとても前向きです。生徒たちのやる気に負けないように、個別最適な学びを目指して、教師人生を再出発させました。

心機一転

朝霞班 中平 仁

昨年度末に無事に定年退職を迎えることができました。中学校英語教員として二十年間、小中学校の教頭、校長、指導主事として十二年間様々な方にお世話になりました。支えていただきました。本当にありがとうございます。

現在は、本市で取り組んでいる小中一貫教育を推進するためコーディネーターとして週3回会計年度職員として勤務しています。各学校を回りながら校長先生と小中一貫教育を進めていく上での悩みや困りごとを聞いて助言をしたり、委員会と学校をつなぐパイプ役をしています。これまでとは立場が違いますが、子供たちのために心機一転がんばっています。

人生は 出会い ふれ合い…

川口班 大竹 伸明

「人生は 出会い ふれ合い めぐり逢い」

小学校一・二年生の担任のF先生との出会いが、私の教職人生の原点となった。歳月はめぐり、縁あつて再び我が母校の校長として着任して五年が過ぎた。これまた、母校でもあり、教諭として着任した青木中学校時代の教え子が保護者となつて、再びめぐり逢えたことに感謝。さらに、私の誕生日に開校した青木中央小学校も必然的に六十周年の還暦を迎え、十二期の私は、六十期の子供たちと一緒に卒業という、めぐり逢いである。

「人生は 出会い ふれ合い めぐり逢い」

明るく未来のために

蕨・戸田班 鈴木 薫

蕨市・戸田市で校長として十年間様々な方々にお世話になりましたこと厚く御礼申し上げます。

現在、再任用教員として日本語指導をしております。児童の中に憂慮すべき東ヨーロッパの紛争から避難してきた子がいます。「ミサイルが飛んできました。お母さ

んと西の国境に向かって逃げた。お父さんは戦いに行った。」そう作文に綴っていました。

不幸な出来事によって日本に来ましたが、見方を変えれば高度な教育を受けるまたとないチャンスを得たとも言えます。彼らが未来を明るく生きていけるよう誠心誠意指導を重ねる日々であります。

教職人生を振り返って

朝霞班 鈴木 勝

教職の終着駅にたどり着き、感慨無量の極みです。思い起こせば、三十七年間は、数多くの方々と出会い、助けられ、育てていただいた教員生活でした。

私の夢は、中学校の教員になり、サッカー部の顧問として生徒と共に汗を流すことでした。臨探の二年間でしたが、その夢は叶いました。県大会三位、関東予選二位の結果を出せたことは印象深い出来事でした。その後、小学校の教員となり、多くの児童と共に学び続け、やり甲斐や楽しさを得ることができました。三十七年間、数多くの失敗や辛い経験もしましたが、我が教員人生に悔いはありません。

支部だより

◆北足立南部支部定期総会

令和五年五月十八日(木)令和五年度定期総会が川口市立並木公民館の多目的ホールで開催された。



当日は、南部教育事務所長阿部仁様、川口市教育委員会教育長井上清之様、南小学校長会会長滝澤葉子様、中学校長会会長肥土耕一様はじめ多数の御来賓の皆様のご臨席のもと、盛大に開催することができた。

本年は、役員改選の年であったが、草加班の関口憲二副支部長が退任され、高



木宏幸様が新たに副支部長に就任された。

主な役員は留任。諸行事等は親睦旅行を除いては例年通りの予定。詳細は総会資料を参照されたい。



◆埼玉県退職校長会総会

六月二日(金)埼玉県退職校長会総会が、さいたま市文化センターで開催された。当日は雨の中にもかかわらず、大勢の来賓、会員の皆様の参加のもと、盛大に開催された。

今年度は、長く会長を務められた石田孝作様が退任され、新井俊一様が新会長に就任されて新たなスタートを切ることとなった。長寿会員祝賀、榮譽会員顕彰、議事と進み、最後は埼玉県歌の大きな歌声でしめくられた。

講演会は、東京健康センター研究所の青柳幸利様から「健康長寿の秘訣は歩き方の黄金律にあった」と題して、生活習慣病を予防するウォーキングのお話をいただいた。全会員の皆様の健康を願っている。



◆現職・退職校長北足立南部支部
教育推進協議会準備会開催

七月七日(金)川口市立並木公民館において、南部教育事務所主任指導主事小野寺啓太様をはじめ各会の代表者、南部支部幹事が参加して準備会が開催され、先の事項が決定された。



○参加者 現職小中校長四十名

退職校長 三十名

○テーマ「現下教育の諸課題」

○提案 現職小・中学校長

退職校長会から各一名

(渡邊秀人)

ご冥福をお祈りします

市村良恵子様 (川口)	9/ 30	九十八歳
鈴木 昭平様 (草加)	10/ 11	九十六歳
安東 幸甫様 (川口)	10/ 17	八十七歳
小林徳之助様 (川口)	10/ 20	九十七歳
木林 唯廣様 (川口)	12/ 24	七十五歳
田中 清邦様 (川口)	1/ 11	八十七歳
瀬田 隆司様 (川口)	2/ 13	八十六歳
中川 武夫様 (朝霞)	3/ 27	八十六歳
小暮眞一郎様 (朝霞)	6/ 2	七十六歳
尾畑 孝司様 (草加)	7/ 5	八十四歳

(7月7日現在)

班だより

◎川口班

五月十四日フレンディアにおいて、市教育長をはじめ六十八名の会員の参加を得て総会・懇親会を開き、今年度のスタートをしました。



以下活動の概要を記します。

《行事》

①親睦旅行：今年度中止。

②文学散歩：十月二十七日、田端文士村記念館く芥川龍之介・室生犀星居跡く大龍寺界隈を散策。

③美術展：今年度中止。

《クラブ》

①俳句の集い：年三回の句会「四季を詠む」を開催。句集の発刊。

②健康教室：ヘルシー料理づくりと別所沼公園周辺ウォーキング。

③盆栽教室：盆栽展の鑑賞教室と十月二十九日盆栽の植え替え。

④ゴルフクラブ：四月六日コンペ

実施。六・十・十二月実施予定。
⑤写真クラブ：撮影会年二回と撮影後は研究会を開催。

⑥絵画クラブ：年六回の写生会とその後の楽しい鑑賞会。

⑦英会話クラブ：年一〜二回実施。自然と触れ合う会話と世界の料理を味わいながらの英会話。

《広報》

○会報「柏樹」：七月と二月、年二回発行。様々な話題が満載。

○ホームページ：事業計画・クラブ・行事・情報提供等を発信し、川口班会員相互の情報交換及び交流の促進を図っています。

《学校支援体制の充実》
最終勤務校を基本に、全会員の市内各校への研究発表会等に参加を促し支援を行っています。

《今後の活動に向けて》

来年度より、段階的定年延長に伴い新会員数の減少が見込まれます。魅力ある退職校長会に向けて会員より意見聴取を行い、新たな親睦活動への支援等に努めて参ります。

(文責 小林博武)



あとがき

北足立南部支部会報「かけはし」第六十三号をお届けします。

ご多用の中、玉稿を賜りました各位に衷心から御礼申し上げます。

編集は引き続き、會田副部长、柿崎勲氏、新たに滝澤榮則氏の四名と編集幹事の松田裕之氏を中心となつて当たらせていただきます。

ので、よろしくお願いいたします。

また、県退職校長会ではHPに力を入れております。松田幹事は各班的HP担当者と連携して、更新や充実にご尽力いただいております。

(加藤 正明)